

広報

# あかいけ

8

## 養命大学

特集

すてきにイキイキと暮らすヒントを探る  
熟年（おとな）の社交場、自分を磨く場…

立花 純江

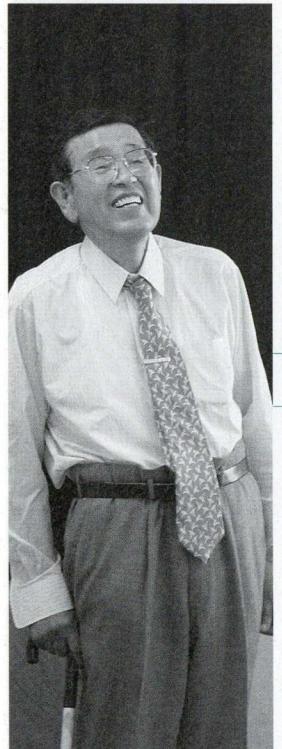




会場は赤池町民会館研修室。スライド用にカーテンが閉められ、初日の講義が始まった…

午前中は、講師を招いての講義、第1回目は添田町の藤澤博文先生による「英彦山の伝説と民話」だ。数年前から緑内障をわずらい、かすかにしか目が見えないという藤澤先生。演壇に立つや第一声「冷房が効いているのですが、みなさんの熱気が伝わってきます。失礼ですが上着を脱がせていただきます」。笑みをうかべながらスクリーンの横に移動した。

参加者が講師の話に集中する。藤澤先生は、画像の名前を聞いただけで瞬時に語りはじめる。まったく間隔が空かない、凄まじい記憶力だ。



●藤澤博文先生（添田町）  
福岡県教育委員会教育事務所長、中学校長を経て、現在は田川郷土史会の副会長として、添田町や英彦山の歴史を広く伝えている。

わたしが上着を脱いだのは  
会場の熱気が伝わってきたから：  
赤池町の民度の高さを感じました

参加者は、にぎやかに昼食  
をとった後、それぞれ午後の5  
講座に分かれる。みんな自分  
を磨こうとする人たち。その  
意欲的な表情を見ていると、  
こちらも元気が沸いてきた。

平成15年度・養命大学講義予定		
回	開催日	講義内容
3	8月7日	心も体も元気よく
4	8月21日	わがまちの広報マン
5	9月4日	介護経験から
6	9月18日	今までの人生これから的人生
7	10月2日	本の読み聞かせ
8	10月16日	防犯について
9	11月6日	レクリエーション
10	11月20日	人生笑って楽しく
	12月4日	閉校式

※ 講義内容は都合により変更する場合があります  
問い合わせ先：町教委社会教育課 / TEL 28-4100

毎回、発見の連続です  
だからみなさん集中してマス

午前中は生の声から  
加賀二枚表を尋ねる

「力チャヤツ」。スライドで英彦山の名所がスクリーンに写し出される。講師は、その画像も見ずに、それにまつわる伝説やエピソードをこと細かに語りはじめた……。

会場からは、ドッと笑いが  
出たり、深くうなずく声が聞  
こえた。10時半からおよそ一  
時間半、およそ50場面にもお  
よぶ英彦山の話は、アツとい  
う間に終わつた。「みなさん  
の聞く態度はすばらしい。私  
語も全くなかつた。赤池の民  
度の高さを感じます。今日は  
私も一緒に勉強させていただ  
きました」。講義後、藤澤先生

「お久しぶり、お元気でした？」開校日には再会を喜ぶ声が、会場に響いた。

# 熟年の社交場、

長く楽しむ、楽しく習う…「生涯学習」と言うより  
「生涯学習」という文字がぴったりと当てはまる「養命大学」。  
町教委主催で昭和50年から28年間も続いている  
60歳以上を対象とした「卒業のない大学」です。  
そこは、自分を磨き高める場であり、社交場でもあります。  
午前は毎回講師が変わる幅広いジャンルの講義、  
午後は5講座に分かれての学習が行われます。  
台風の影響で流れてしまった6月19日の開校式…  
95人の参加者が心待ちにしていた初日を7月3日に迎え、  
今年も月2回、11月まで10回の講座がスタートしました。  
今回は交流しながらスキル（熟練）アップをめざす  
各講座の取り組みから、第二の人生をすてきに  
いきいきと暮らすヒントを探りました。



受付後、町保健課健康づくり係が  
血圧測定し健康状態をチェック。

# 自分を磨く場… 「養命大学」



●ペン習字講師  
仲島利昭先生（下町）  
学校長を経て、町教育委員会に、現・教育委員会委員長。赤池中校訓の石碑などを筆耕する。本講座の講師歴は10年以上。

## 「命」を洗つて「養う」場所です

### 文字どおり「養命大学」は

「字を書くのは二の次、とにかく楽しさと交流が大切」  
仲島利昭先生（下町）  
学校長を経て、町教育委員会に、現・教育委員会委員長。赤池中校訓の石碑などを筆耕する。本講座の講師歴は10年以上。  
「字を書くのは二の次、とにかく楽しまなければいけない。ここに来られる、ここに

**字を書くのは二の次  
樂しさと交流が大切**  
「字が上手にならなくてもいい。この時間、みんなと仲良く、和気あいあいに過ごせればいいんです」。講師の仲島利昭先生は、参加者同士の交流を最も大切にしている。  
「私の講座で字を書くのは1時間くらい。それ以外は私が話してますよ（笑）」。

毎回、ちょっと得になる話を仲島先生が面白おかしく話すというこのペン習字講座は、希望者も25人と、毎年5講座中トップの参加数を誇っている。字を書く前のお話のが、みなさんの緊張を解き、肩の力を抜くのだろう。  
「私はね、この『養命大学』という呼び方が好きなんですね。ほかの市町村では老人大学とか高齢者大学と呼ばれて



↑初日は筆ペンの「慣らし」に大忙し。



↑おもいっきり笑った後は、じっくりお手本を見ながらペンを走らせる。

居ること、そのことが何よりの健康の証です」。ここやかにペンを手にした。  
この講座は4年目になると、いう萩原筆雄さん（貴船）。「普段、好んで字を書くことがないので、なるべく先生が言われるように、特別を動かさうと受講しました。先生が目指すのではなく、肩の力を抜いて、楽しく書くようになります。先生のお話も楽しみの一つです」。笑顔で語った。

ペン習字講座は、会話のにぎやかさと、練習に入ったときの静けさが対照的だ。オフからオフにスイッチが切り替わると、圧倒的な集中力でペンが走り始める。みんなさんの一生懸命な姿が、とても美しく印象に残った。

## 会話で肩がほぐれる 緊張を解くと集中できる 樂しさと真剣さが上達の基本

ペ  
ン  
習  
字



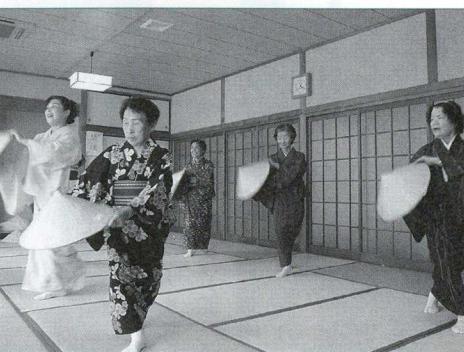
いつまでも  
健康の秘けつ  
この「笑顔」にあり



頭の先から足先まで  
全身に神経を行き届かせ  
しなやかに、そして一心に舞う

「頭の先から足の先まで氣を配りながら全身を動かす「踊り」の効果が、参加者の若さの秘けつだと説明する。芸能発表会や敬老会の舞台で踊りを披露すれば、観客に注目される。その「人に見られる」という感覚が上達につながり、若さの源になつてゐるかもしない。生活する上で、人前に出なければ身だしなみも整えなくなる。閉じこもりが老化を早める原因との話も聞いた。しかし、民舞講座のみなさんは「舞台に立つ」という、さらに高い次元で、自分の芸能と自分自身を磨いている。

「曲に合わせて身体を動かすと本当に気持ちがいい。ここでワイワイ言つてコミュニケーションをとるのが何よりも楽しみ」。受講する白川テ



↑花笠音頭のポイントは笠の持ち方、指先にも集中。

ル子さん（8の5）がイキイキと語った。  
それにしてもみなさん着物の着こなしが板に付いていいる。と言うか、すごく自然に見える。「今年80」「私は82よ」そんなお歳を召しているとはとても思えない。

額にうつすらと汗をかいたみなさん「養命大学が待ち遠しかった」。初日練習の合間に笑顔で口をそろえた。

←初めて踊る曲も5回ほど  
で振りやリズムを吸収する。

「さあー、今年は何にしようか…。みんなが知つと一曲  
が良いばい。花笠音頭とかインやない？」取材にお伺  
じやました時は、ちょうど休憩時間。今年の敬老会で披露

とても熱、  
みなさん、  
全身を動か

初めて踊る曲も5回ほど  
振りやリズムを吸収する。

とても熱心で振り覚えも良い  
みなさん、私より若く感じます  
全身を動かす踊りの効果でしょ

**目標に向かって自分の芸と向き合つ**

する踊りの話題に花が咲いていた。



●民舞講師  
白橋靖代先生（田川市）  
中山流芳花会準師範として、赤池町内では「あやめ会」「花水木」などの団体を指導。本講座講師は3年目。



↑まず自分の7句を全員に渡す、そして緊張の選句がはじまる…

俳句は遊学の広場  
すなわち遊びつつ学ぶこと  
一抹の不安も忘れる時空間です

間と俳句

「古い」によつて心と体が  
別々になり、心の支えが必要  
になると言う。その心の空洞  
を何で埋めるかが、その人の  
課題になるそうだ。

この講座では、まず全員が  
詠んだ俳句を7句ずつ出し、  
その中からそれぞれが好きな  
句を発表する。ただし、自分  
の句以外を選ぶことが原則、  
選句する参加者の表情は真剣  
そのものだ。

他人の句からその情景を思  
い浮かべる…また、自分の句  
が読まれているという意識も

緊張感が漂う。上達のコツは、たくさん作ることにあるという。そのためには、色々なものを見て感じることが必要だ。「ものを見ると自分に返ってきます。ある程度慣れれば、スーッと自分の中に入ってくる。それを文字にする。俳句的に言えば『さずかる』という感覺です。俳句は一瞬にとらえた物語の詩なのです」。実に粹である俳句、奥が深い。

この日、句を読み上げる披<sup>ひ</sup>講師をした安田健一さん（赤池NT）は「旅行先で美しい情

景に感銘した時、この気持ちを詠いたい」と思えるようになりました。まだ始めて4年目ですが、俳句は生涯続けたいです」と意欲的に語った。

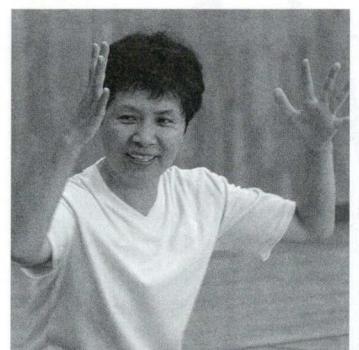
「俳句は遊学の廣場、すなはち遊びつつ学ぶこと。老後、詩歌に託すさやかな生き方もある。一抹の不安は誰にでもあり、詩はそれを忘れさせてくれる……」句人らしく一語一語吟味された感のある講師の言葉。わずか十七文字で表現する俳句について、この1ページを使つても充分には伝えられないと、そんな気がした。



●俳句講師・池田一步先生（中組）  
赤池町議会議長、教育長、福祉社会理事長を歴任。現在、日本伝統俳句協会ホトトギス同人参与。本講座講師は8年目。



↑俳句の言い回しは独特、互いに相談。



●リズムダンス講師  
進 悅子先生（豊津町）  
北九州市の生きがいディ  
サービス等の講師、数講座  
をこなす。本講座は5年目。

時間中はリズムダンスだけではなく、簡単な器具を使ってのストレッチや歌いながらの上半身運動も行われていた。「みんなと一緒に動いて汗を流す、それだけでいいんです」進先生は、微笑みながらタオルで額の汗を拭いた。この講座は5年になるという森善幸さん（上谷）は、定年後すぐに参加した。「最初はだれも知らないなかつたんですが今ではこの講座のみんなが顔見知りです。ここで1時間半、一緒に汗を流す

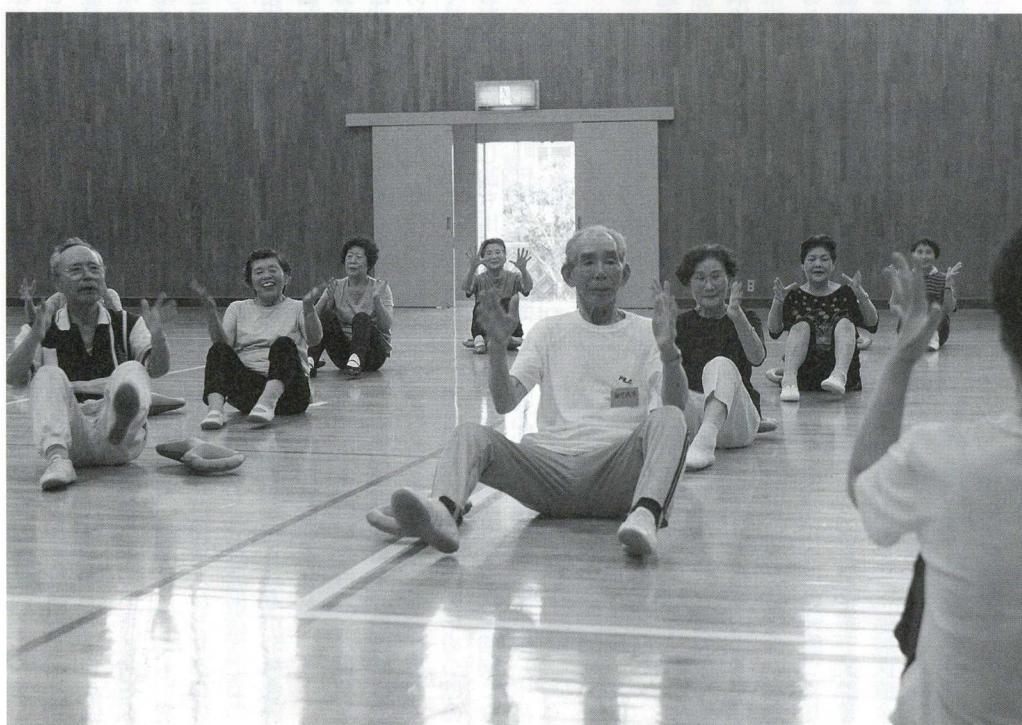
**何もかも忘れ  
みんなと一緒に動いて汗を流す  
ただ、それだけでいいんです**

**汗の分だけ爽快に  
リフレッシュ**  
すでに体育館では輪がで  
き、フォーケダンスが踊られ  
ていた。大きな声で次の動作  
を説明し、手拍子をとる進悦  
子先生。そのまま輪の中に加  
わった：「せめてここに居る  
時間だけは、家事のことを忘  
れて、思いっきり楽しんで欲  
しいんです」。講座では、無理  
のないのんびりとしたリズム  
の選曲がなされている。

「なるべく長い時間、笑顔  
で動ける曲を心がけていま  
す。ダンスと言つても、特に  
リズム感や美しい動作は求め  
ていませんし、また、その必  
要もありません。曲に合わせ  
て動くだけで、新陳代謝を高  
めることができます」。



フォークダンスはコミュニケーションをとるのに最適。



歌いながら行う上半身運動も、歌詞に方言を交えて楽しさをふくらませる。

**笑顔で無理せず  
やわらかなリズムに  
自然とからだが動き出す**



「みんなと一緒に動いて汗を流す、それだけでいいんです」進先生は、微笑みながらタオルで額の汗を拭いた。この講座は5年になるという森善幸さん（上谷）は、定年後すぐに参加した。「最初はだれも知らないなかつたんですが今ではこの講座のみんなが顔見知りです。ここで1時間半、一緒に汗を流す

のが楽しみ。そう快ですし、リフレッシュできます。日ごろから万歩計を付けて運動や健康に気を付けていますよ」見せていただいた森さんの万歩計は、驚いたことに、すでに1万歩を越えていた。

人間だれしも歳をとる。しかしそれは「老い」ではなく「成熟」と言えるのではないか。今回、養命大学を取材してそう感じた。みんなが真に生きる喜びを謳歌し、自分を磨く姿が輝いて見えた。人生のすばらしさに触れた気がする。ここは、新しい自分と出会い、高める場：



歌い込むうちに、みんなの呼吸が合ってきた…会場が一体となった声量に圧倒される。



民謡に欠かせない三味線、藤本秀年里先生（直方市）の伴奏。

### 活力みなぎる 音楽療法の効果

おもむきある三味線の音に威勢よい合いの手・民謡講座のみなさんが歌詞を手にして歌うのは青森県の「五所川原甚句」。この曲は、民謡のなかでもむずかしい部類に含まれるという。一人ひとりの自己紹介から始まつた今年の民謡講座。まず、講師の川野ナオコ先生が、この曲についての背景や特徴をていねいに説明した。

「みなさん、歌詞と節を覚えるコツを完全に身につけていらっしゃいます。だから、難度の高い曲でも安心して使

言う。川野先生は「人生経験豊富な、みんなのにこやかな表情を見ていると、とても幸せな気分になるんです」とその心境を笑顔で語った。そして「私もある風に歳をとりたいなって思うんです…」さらに笑顔が輝いた。

受講して6年目という小島久子さん（高尾）は「普段、民謡で歌うときのよくな声を出しがないので、気持ちが

見ていると「あんな風に年齢を重ねたい」って思うんです



●民謡講師  
川野ナオコ先生（直方市）  
直方市で民謡と三味線  
の会「秀希加会」の会主  
を務める。藤本会の三味  
線師範。本講座は7年目。

うことができるんです」。講座を終え、川野先生が初日の内容を振り返った。

「おなかに力を入れて声を出すことで肺活量が増え、血行が良くなります。そして精神的ストレスも発散できるんです」。生きる活力につながるという民謡の効果は、最近もたらしてくれる。

そして、参加者が心待ちにしていたこの講座は、講師にとっても楽しみなひと時だと

# 施政方針

6月議会で表明

21

世紀もすでに3年目

国内は「存じのよう

に停滯を続ける経済、増

大する財政赤字、悪化

する雇用関係等、深刻な問題が見

えてこない等、かつてない程国民

生活に暗い影を落としています。

一方では、市町村合併が強力に

進められています。赤池町は自主

税源が乏しい中でも、少子・高齢

社会への対応、住民福祉の充実、

生活関連施設の整備、厳しい条件

下の農業振興策等「地域づくり」

のために各般の政策課題を着実に

推進していかねばなりません。

また、産廃地域振興臨時措置法

に基づき、約40年間にわたり実施

された産廃地域振興対策は、

平成14年度から激変緩和措置とし

て、限られた期間と財源の中で自

立促進が求められています。産廃

法、過疎法、いずれもこの期間内

に重点的かつ優先的に実施すべき

施策を定め、計画的に推進して参

ります。また、地対財特法は失効

しましたが、人権教育、人権啓発

等の課題の解決に向け、取り組み

を積極的に行って参ります。

さらに、国は電子自治体の実現

に向け、IT化、電子化を進めて

いますが、この実現のためにも積

極的に取り組んで参ります。

このような多くの課題が山積し

ていますが、今後私は、議員各位

をはじめ、町民の意向を体しながら、以下、基本的な考え方を示し、取り組んで参ります。

平成15年度・赤池町

# 動き

合併の

## 赤池・金田・方城、下田川3町 合併任意協議会設置を目指す

7月5日に「田川市郡合併を考える勉強会」が田川市で開かれ、10市町村のうち赤池・金田・方城の3町と、それ以外の7市町村が別々に合併任意協議会を設置することで合意されました。水永町長は「10市町村での合併は、広域すぎて、日々の生活拠点である地域に、きめ細かなサービスが行き届かない恐れがある」とし、下田川4町の合併を望みましたが、「糸田町が田川市郡全体の合併を望んでいるため、3町での合併を進める」との方向性を示しました。

住民アンケートで多かった直方市との合併については「すでに直鞍地域での合併の作業が進んでおり、それに赤池町が加わることは実質不可能。直方市との合併を望む声は多いが、直鞍地域との合併では事態が異なる」と考えを示しました。

3町合併後の人口は約2万6千人。今後、任意協議会の設置に向け、準備が進められます。任意協議会は法定協議会の前段で、合併についての議論・検討をする場です。地域説明会などで住民の意見を充分に把握しながら、議会等との協議が進められます。



●「施政方針」は、6月17日、6月定例町議会の初日に水永町長が表明しました。通常は3月議会で示されます。今年は町議会議員選挙を待って方針を出しました。

今年度4月に、赤池町地域福祉活動計画策定委員会より提言も受けています。これらの意見を充分認識して、住民から信頼される施設機能の構築を図つて参ります。また、自立と社会参加の促進という観点から、障害者の能力開発と支援（職業能力開発体制の整備、障害者の就労促進（福祉的就労の充実）、精神障害者の社会復帰（生活基盤確立支援）等）社会の一員として社会参加し、ともに生き生きと暮らす社会づくりを進めて参ります。

次に学校教育の充実について申し上げます

これから、教育は、社会の変化に的確かつ柔軟に対応できる力や多様な個性や価値観を尊重し、認め合う心を持つた子どもを育成することを目標としています。次に学校教育の充実について申し上げます。

次に観光基盤の整備について申し上げます

ご存じのように、昨年実施した「上野焼四百年祭」は、おかげ様で成功裏に終えることができました。この四百年祭を契機とし、将

来に向け、豊富な観光資源を活用し、観光開発、振興に取り組んでいます。そのためには、交通アクセスの整備推進、恵まれた自然の中で手軽にできる観光の広域化と共に、伝統的工芸品「上野焼」を通じて、心のうるおいを提供し、

終わりに、社会の変化は流動的ですが、赤池町の振興・活性化のため、微力な私ですが、皆様のお力を添えを賜わりながら、職員一体となり、目的達成のため最善の努力を傾注して参ります。よろしくお願いを申し上げ、私の所信表明に変えていただきたいと思います。

また、市場小学校も老朽化が進むことが求められます。いじめ、登校拒否等の教育上の課題解決に向け、教育委員会で「赤池町生徒指導総合連携推進協議会」を設置し、学校・家庭・地域社会が一体となって、学校における地域の人々との交流・活用を進め、さらに、学校開放をも視野に入れた、ゆとりある教育環境の整備・充実に取り組んで参ります。

このような教育方針に基づき、今年度上野小学校の建設を計画し、学校における地域の人々との交流・活用を進め、さらに、学校開放をも視野に入れた、ゆとりある教育環境の整備・充実に取り組んでおります。建設後は、特色ある地域に開かれた学校づくりを進め、自ら学び考え、主体的に判断する資質や能力を持ち、自らを律しつつ、他人と協調し思いやる心など、豊かな人間性とたくましく生きる力を育む教育を推進して参ります。

いま、農業・農村は、過疎化、高齢化の進展による担い手の減少、生産の停滞という大変厳しい状況にあります。今後、赤池町の農業・農村を、健全で活力あるものとするために、多様な担い手の育成、創意工夫を活かした農業生産の展開、新品種・新技術の開発普及、高能率な農業生産基盤の整備等、活動力とうるおいのある「むらづくり」が必要であると考え、取り組んで参ります。

各種施策については費用と効果の関係を常に念頭に置きながら、簡素化と効率化の追求を図ると共に、施設相互間の連携・縦割り行政の弊害の解消に向け、総合的・体的な観点で、施策を展開していく必要があります。

さらに、限られた財源で最大限の効果を引き出すためには、施策の優先順位の設定や重点化を図ること共に、施策の成果を適正に検証することが重要だと考えます。

また、組織を支えるのは「人」であるという原点に立ち返り、より一層の職員の資質・能力の向上を図ることが必要です。職員の勤労意欲向上と、能率的で迅速な事務処理を行うため、適切な体制づくりを推進し、行政の簡素化と効率化を図るためにも、業務実態に配慮した職員配置が重要だと考えて

います。

今年度4月に、赤池町地域福祉活動計画策定委員会より提言も受けています。これらの意見を充分認識して、住民から信頼される施設機能の構築を図つて参ります。また、自立と社会参加の促進という観点から、障害者の能力開発と支援（職業能力開発体制の整備、障害者の就労促進（福祉的就労の充実）、精神障害者の社会復帰（生活基盤確立支援）等）社会の一員として社会参加し、ともに生き生きと暮らす社会づくりを進めて参ります。

次に市町村合併について申し上げます

この厳しい財政状況の中、経済の合理性、財政効率の優先等の理由で、なれば強制的とも思える形で、市町村合併が進められようとしています。

また、国に対しては、関係市町村と連携を密にして、町村の行政運営に支障がないよう、地方交付税の確保や税源委譲等に向かって、引き続き強く要望して参ります。

国庫補助負担金の廃止・縮減には、賛成できるものではありません。私は、合併の強制や小規模町村を「能力がない」と一方的に

めながら、経済の動向に即応した機動的・弾力的な運営にも配慮し

つつ、節度ある町政運営を行なうことが重要だと考えています。

また、国に対しては、関係市町村と連携を密にして、町村の行政運営に支障がないよう、地方交付税の確保や税源委譲等に向かって、引き続き強く要望して参ります。

いざれにしても、税源委譲を伴う三位一体改革の具體化に向けて、地方への税源委譲を同時に行う本格的な調整が行われています。

三位一体改革の具體化に向けて、地方への税源委譲を同時に行う

本格的な調整が行われています。

いざれにしても、税源委譲を伴う三位一体改革の具具体化に向けて、地方への税源委譲を同時に行う本格的な調整が行われています。

4町の合併を望んでいますが、田町が加入しない場合は、下田川3町での合併を考えています。今後、議会の皆様と充分検討しながら進めていきたいと思っております。6月30日に下田川4町の会議があります。この会議で意志統一を図りながら、7月5日の「田川市郡市町村合併を考える勉強会」で、その旨をはつきりと皆さん面前で公表し、他市町村の意見も聞きたいたと思っております。基本的には下田川4町の合併で

上野峠から直方市に通じる道路を新設していただき、直方の「花公園」と上野峠、また上野焼との交通アクセスを整備し、一体化した観光開発が図られればと考えております。県、あるいは土木事務所にお願いし、上野の里に通じる道を拡幅していただきたいと考えています。

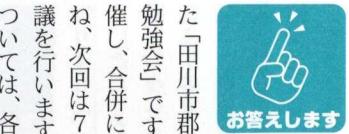
ましたように、1市8町1村の合併は考えにくく、私も認識しております。こうした現況下で「下田川4町で合併してはどうか」という気運が高まっています。しかし、糸田町は田川市との隣接町であることから、その糸田町の動向をみながら下田川4町での合併を進めていきたいと考えています。

今朝の新聞で「方城町が下田川4町の合併を第一目標として定め、糸田町が加入しない場合は3町で合併したい」との報道もなされています。私もできれば下田川4町の合併を望んでいますが、糸田町が加入しない場合は、下田川3町での合併を考えています。

今後、議会の皆様と充分検討し

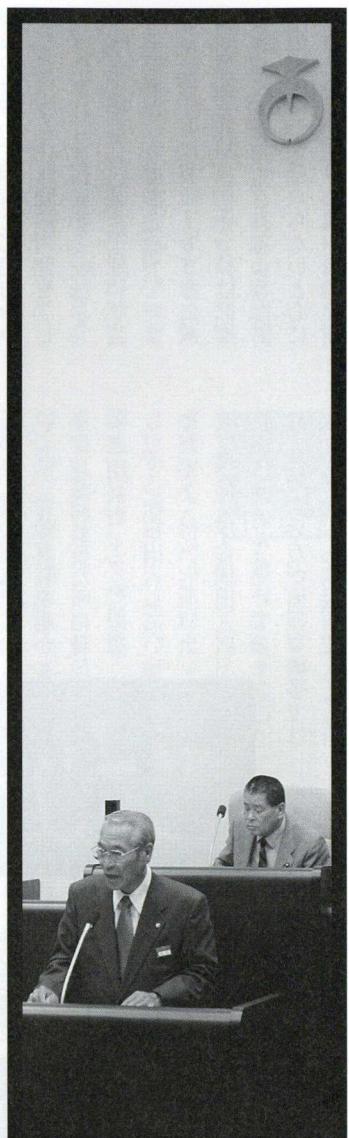
進んでいきたいと考えています  
し、コンパクトな町村合併をして、住民の皆様に「将来、本当に良かつた」と思われるような合併の方向づけを行っていきたいと考  
えていますので、ご理解をいただきたいと思います。  
次に観光開発についてであります  
が、赤池町には豊富な観光資源があり、観光振興を通じた魅力ある地域づくりを目指しています。  
しかし、ご存知のとおり、直方方面から上野峠、あるいは上野焼  
の里までつながる道路の幅が狭く、大型観光バスが通行できない状況であります。  
できれば、直方市にお願いし、  
上野峠から直方市に通じる道路を

今後、検討させていただきます。文化の町、住みよい町づくりを進めしていくためにも、図書館は欠かせない施設だと思っています。また、行政サイドで広域的な図書の貸出しができる様に、田川市直方市の図書館とも相談を行つてきたいと思っております。



お答えします

**(町長)** まず、市町村合併についてお答えします。昨年の11月30日に発足し市町村合併を考える



議案

## 町議会が 補正予算案、住基カード 手数料など13件を可決

平成15年6月定例町議会が6月17日から20日までの4日間の日程で開かれ、議案13件を審議し、最終本会議で採決されました。

【議案26号】専決処分の承認について…可決▼平成14年度赤池町一般会計の補正予算の専決処分です。既定の予算額から歳入歳出それぞれ2億1千209万6千円を増額。補正後の歳入歳出予算総額は47億2千611万6千円です。

【議案27号】専決処分の承認について…可決▼平成14年度赤池町国民健康保険事業勘定特別会計の補正予算の専決処分です。既定の予算額から歳入歳出それぞれ3千円を増額。補正後の歳入歳出予算総額は47億2千611万6千円です。

与の一部改正に準ずるもので、  
【議案32号】赤池町職員の給与に関する条例の一部改正について…可決▼条文の一部記述修正です。  
【議案33号】赤池町非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部改正について…可決▼国の支給基準の改定に準じた退職報償金額の改定です。

国は厳しい財政状況の中、経済の合理化、財政効率の優先などの理由で、積極的に市町村合併を推進しています。町長の施政方針でも「市町村合併は避けて通ることはできない重要な課題である」と表明されました。私も地方分権型社会が本格的に構築されようとしている今、この市町村合併については大きな関心を持つて、本当に町民の皆さんに将来に希望のもてる質問します

## 一般質問

任、免職、休職等に関する法律の一部改正に伴う全部改正です。

【議案第35号】赤池町手数料徴収条例の一部改正について：可決・住民基本台帳法施行規則の一部を改正する省令に伴う条例改正です。

【意見書3号】出資法の上限金利に関する請願・総務常任委員会に付託継続審査

【意見書4号】「三位一体」の改革の早期実現に関する意見書：可決

トを設定し、もっと観光に力をいれて、活性化に力を注いでいただきたいと思つていますが、町長の考えをお聞かせください。

町に」と考えています。町長の施政方針で「田川市郡合併を考える勉強会で、合併に関する調査研究を進めていた」と聞きましたが私はこの勉強会が、そのまま田川市郡（1市8町1村）の合併にならることは反対であります。

市民のアンケートでも、「田川市郡との合併は一割にも満たない」と聞いています。私は、でき得れば下田川4町（金田、方城、赤池）の合併が最適だと考えていますが、町長のお考えをお聞きさせください。

また、見通しのつかない景気経済状況、進行する企業の空洞化等で、企業誘致への望みはなくなりつつあります。したがって、今

# 一般質問



## 片岡議長が全国石炭鉱業関係 町村議會議長会・会長に就任

「この度、福岡県鉱業関係町村議會議長会の会長就任を経て、7月25日に東京都で開催されました全国石炭鉱業関係町村議會議長会の臨時総会において、会長の要職を拝命いたしました。いま、全国51の町村議会を代表する重責を痛感している次第です。

現在、旧産炭地域は、石炭に代わる基幹産業の未発達や鉱害等で、財政面、雇用面、環境面で極めて厳しい状況下に置かれています。

産炭法では2条、6条、10条で地域を指定していますが、特に6条地域の疲弊が著しく、各種援助措置が必要であるとされています。

県内では赤池町をはじめ、筑豊・筑後地区の大半がこの6条指定です。約40年に渡った石炭関係諸法は平成13年度を以て終了し、5年間の激変緩和措置後、一般対策へ移行される見込みですが、私は、更なる支援策や特開・開就事業の延長に向け、鋭意努力する所存です。

今後、赤池町の議会活動はもとより、全国石炭鉱業関係町村議會議長会を代表し、産炭地域の発展に邁進いたしますので、皆様のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます」。

\* 片岡議長はそのほか、福岡県産炭地域振興促進協議会副会長、福岡県産炭地域振興センター理事に就任しました。



今後は、より良い赤池町の農業振興の方向づけを、生産者・行政・農協・消費者を含めて充分議論検討し、農業の活性化に向けて取り組んで参りたいと思つておりますので、よろしくお願ひ致します。

平成12年度をもつて準用財政再建団体から脱却いたしました。町をあげての協力体制のもと、その成果は全國から注目をあびたところですが、一息することなく市町村合併に直面しました。6月定例会初日に合併に向けた論議も行われ、新たな方向づけが示されつあります。今回、町長の施政方針の中で合併問題はもちろんのこと、諸般にわたる政策課題を私は、議会人として赤池町の活性化のために推進していくかねばと考え、決意しています。

そこで、施政方針の中から2点お尋ねいたします。  
まず「鉱害による病院の移転復旧は、基本的に診療所とし、「治療より予防」を宣言葉とする地域ぐるみの健康づくりを推進し、地域医療全般を担う医療機関として、プライマリ・ケアの提供体制を充実していくことが重要である」と述べられています。このプライマリ・ケアの提供体制につきまして、具体的にお聞かせ願います。

次に「自立と社会参加の促進の観点から、障害者の能力開発の支援職業能力開発体制の整備、障害者の就労促進、福祉的就労の充実、精神障害者の社会復帰、生活基盤確立支援など、社会の一員として社会参加し、ともに生き生きと暮らす社会づくりを進めて参ります」とあります。この中で精神障害者の社会復帰をどのように理解し、関わっていくのかお尋ねいたします。

発信できるような施設をつくっていきたいと考えておりますので、よろしくお願いします。  
2点目につきましては、障害者の社会復帰を図るために、関係機関、特に福祉事務所、職業安定所、福岡県と連携を図りながら、だれもが社会参加でき、いきいきと暮らせる社会づくりを進めていくことは当然であると思つております。そのため、障害のある人に對する偏見や無理解を解消するための啓発を進めるとともに、自立した生活に向けた能力の開発を関係機関とともに進めて参ります。

また、総合保健施設内に敷設予定である多目的ホールを利用し、機能訓練を可能にするなど、社会復帰に結びつくような努力を行つて参りますので、よろしくお願ひいたします。

再建中、町民の方はもちろん、町長はじめ関係各位の方々には、町政運営に対し、大変ご苦労されたこと思います。再建後、新たな気持ちで町づくり、地域づくりに積極的に取り組まれているのを非常に感じてゐるのですが、私を含め町民から素晴らしいと思う反面、財政面は大丈夫なのかと思います。まずこの点についてお尋ねします。

次に、庁舎横障害者用駐車場から庁舎への通路についてですが、障害者用駐車場から庁舎まで遠回りになっていたところ、数年前花壇の中に踏石が敷かれ、通りになりました。健常者は良いのですが、車椅子利用者については依然として遠回りをしなくてはなりません。何とかこれを対処していただきたいと思いますし、高齢者のみなさんにも喜ばれると思いますので、お尋ねいたします。

今、農業は、農産物価格の下落、基幹作物である米価でさえ安値安定と、農家の収入は減る一方です。今後の米作りは、いかに安い作業料金を10アールあたり1万円まで下げることができます。赤池町においても、こうした政策を取り組んでいるようですが、赤池町ににおいても、こうした取り組みを検討していただきたいと思います。

（町長）1点目の質問でございますが、赤池町は平成12年に再建団体から脱却しました。これも町民の皆様、議員の皆様のご理解と協力をいただきながら10年間の再建をなしとげたという気持ちで一杯です。

現在、地方交付税が平成13年度14年度でかなり減額となっていましたし、15年度においてもさらに減額が見込まれています。私は二度と再建団体に指定されるような財政運用を行つてはならないと心に決めております。再建中の10年間

（町長）まず1点目についてお答えします。住民が適切な医療を受けられる医療提供、特に赤池町は平成11年3月から田川市立病院、糸田町立病院と連携しております。現在、産業医大と連携し、医師派遣をしていただいております。また、飯塚病院とも連携を行いながら、適切な医療提供を進めて参ります。

平成16年度から町立病院を診療所として建設に入ります。住民の中には60床を希望している方もおられます。が、病院建設検討委員会で診療所という結論になりました。診療所になりまして、先程述べました様に、近隣病院との連携を充分にとりながら運営したいと考えています。また、建設にあたり、診療所、保健センター、福祉センター等の施設を一体化した複合施設を建設し、福祉と医療の

まちづくりということで、全国にかかると思います。また、身障者用駐車場の位置の問題もありますので、今後の検討課題として各課と充分協議したいと思います。

（町長）3点目の農業政策ですが、私も農業をしておりますし、農業をとりまく諸問題や不透明な部分は少ない費用で最大の効果を上げる事業の推進に努めています。

合併についての議会審議で「赤池町は他町に比べ財政状況が良いので損をするのでは」との意見もありましたが、本町はある程度基金もありますし、また、補助金等も考慮しながら町活性化に向け、取り組んで参りますので、ご協力賜りますようお願い致します。

2点目ですが、庁舎周辺は緑地帯として計画しております。裏の出入口については、身障者駐車場から少し遠回りした所に身障者用スロープを設置し、そこから出入していただくようにしてまいります。現在、庁舎横出入口正面に踏石を敷いており、身障者の方が直接車椅子では入れないといった不便があろう



かと思います。また、身障者用駐車場の位置の問題もありますので、今後の検討課題として各課と充分協議したいと思います。

6月定例議会



# まちの話題

## 豪雨被害相次ぐ

浸水・土砂崩れなど

7月18日18時ごろから19日未明にかけて町を直撃した集中豪雨。300㍉前後の猛烈な雨で彦山川が危険水位を超えるなど観測史上最高の数値を記録しました。

町は19日早朝、水永町長を本部長とする災害対策本部を設置。中村博樹団長以下町消防団が出動し、被害状況の把握と災害被害の拡大防止に務め、町職員も現場に駆けつけ対応しました。

町内では土砂崩れが56か所、それに伴う住宅の半壊などが4件。排水容量を超えた雨量により、花園・コスマスタウン・新町を中心に82世帯が浸水（うち床上26）し、車をはじめ多くの家財を失いました。

土砂崩れなどの危険がある8世帯（21人）は、町民会館や最寄りの集会所に避難。町消防団が土のう積みやシート掛けを行い二次災害防止に努めました。なお、町内での死傷者はいませんでした。



↑福智川が氾濫して川のようになった道路  
(19日11時ごろ・興國寺付近)

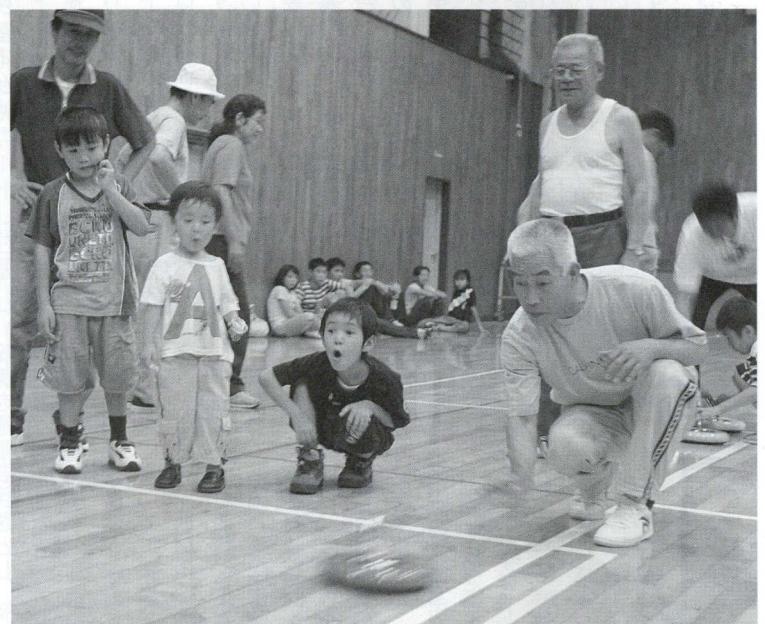
※ 被害状況は7/28現在で把握している数字です。

## 同和問題映写会 あらゆる差別を映像で学んだ

→映画解説と差別解消について話す堀内さん



7月8日に中央研修所で同和問題映写会が開催されました。上映映画は西川峰子さん主演の「あかね雲」。田川地区同和啓発センター事務局長の堀内 忠さんを解説講師に迎え、230人が参加しました。例年、強調月間では講演会を開いていますが、映写会は今年が初めて。映画は、部落差別をはじめ、人種差別、女性差別などを含んだ内容で、誇りを持って生きるすばらしさや、同和問題に対する母からへのメッセージが込められていました。堀内さんは「今は人権をキーワードに世界中が考える時代。差別をなくす取り組みは町づくりです。この町に住んで良かったという、故郷を愛する気持ちにつながります」と話し、差別が犯罪になる法律の必要性を力強く説明しました。



↑ローラーの行方が気になる瞬間

## 三世代スポーツ大会 気まぐれなジェットローラー

7月6日に町民会館で、子育連主催の三世代スポーツ大会が開催され、25チーム（老人クラブ5・地区公民館11・地区子ども会9）が参加しました。種目は、昨年初挑戦して好評だったカローリング。7㍍先にある直径90㌢の的をめがけ、3人1チームでジェットローラーを走らせて得点を競うゲームです。少しの力加減で行き過ぎたり、的に届かなかつたりとコントロールが難しそうでした。また、床板の反りでローラーの方向が変わる箇所やバックする場面もあり、最後まで勝敗の行方が分らないゲームで盛り上がりいました。結果は、優勝：3区子ども会、準優勝：16・17支所公民館、3位：20支所公民館です。



↑秋の収穫が楽しみ。餅つきして、みんなが畑で育てた大根で「おろしもち」を作ります。

## 町内4保育所合同交通安全教室 みぎ・ひだり確認しまーす

6月27日に町民会館で、町内4保育所4歳以上を対象に交通安全教室が開かれました。田川警察署と田川交通安全協会赤池支所が主催する初の取り組み。園児たちはアニメのキャラクターや動物のイラストを使った婦人警官の説明に、事故の多い飛び出しや交差点での交通ルールの理解を深めました。



↑アンパンマンとキリンさん、交通ルールの説明に興味津々、144人の園児たち。



↑呼吸を合わせ、気功のリズムに乗って、ゆったりと身体を動かした練功十八歩。

## 1 町内4保育所合同田植え 1日お百姓さんになったヨ

6月25日に毎年恒例の園児による餅米の田植えが、上野山崎で行なわれました。上野・市場・赤池・中尾保育所の年長園児71人が「一日お百姓さん」になって、汗を流しました。目印のついたヒモに沿い、一列に整列して、ひとつづみの苗をていねいに植えていきます。田に足を取られながら、頬に泥を付け、5畝を植えつくした園児たち。満足げに苗に話しかけて、秋の収穫を心から祈りました。

## 初の同日開催に延べ770人 ふれあい体操会・街頭啓発歩こう会

6月29日にワイ・ワイ・ワ広場で「ふれあい体操会」と「街頭啓発歩こう会」の出発式が行われました。7月の同和問題啓発強調月間に向けた取り組みで、両イベントの同日開催は今年が初の試みです。体操会には300人が参加。人権擁護委員による講話で同和問題をはじめとするあらゆる差別に対する認識を深め、ラジオ体操や中国式の健康体操「練功十八歩」で身体をほぐしました。

その後、参加者に見守られながら、町内4ブロックに分かれた「歩こう会」がスタート。人権のタスキとのぼり旗を延べ770人が町中全域（23.2km）でつなぎました。一步一步踏みしめながら、みんなが幸せに暮らせる「差別のない町づくり」を訴え、人権意識を高めました。





「げんきな歯」は健康のシンボル！ わが家の健康づくりの第一歩は丈夫な歯づくりから。まずは、家族全員で歯の健康チェックから始めましょう！ あなたの歯の健康度はいかがですか？

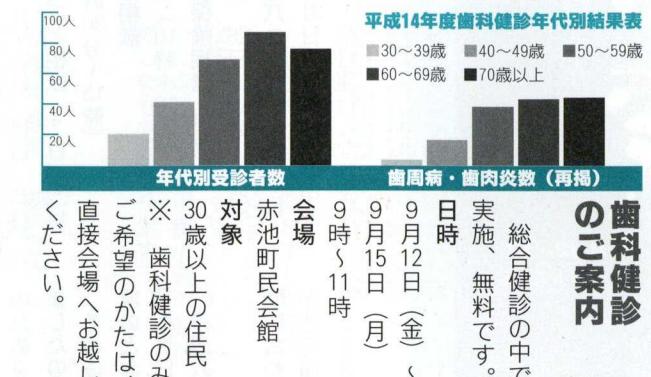
## 自分の歯を保つて、いつも歯ツピー

特に中年期以降に発生しやすい歯周病は歯を失う大きな原因であると共に、心臓疾患のリスクを高めます。また、糖尿病により歯周病が悪化することがあります。むし歯や歯周病は生活習慣病といわれており、歯の健康を保つためには、適切な生活习惯を身につけることが必要です。

赤池町では、歯の健康づくり対策として下記のとおり健診や講座を実施します。昨年の歯科健診では37名が受診しました。この結果表からもわかるように、歯周炎・歯肉炎は中高年だけに限ったものではありません。この機会に自分の歯の健康状態を知り、「げんきな歯づくり」にお役立てください。

### チェック！ CHECK！

- 歯ぐきがピンク色でなく赤く腫れている
- 歯ぐきがムズムズする
- 歯みがきの時に出血する
- 歯のはえぎわに乳白色の塊がたくさんついている
- 前歯の間が空いてきた
- 硬いものがかみにくく
- 水がしみる
- 口臭がある
- 喫煙者である
- 糖尿病である
- 歯みがきをあまりしない
- 朝起きたとき唾液に粘り気がある
- 歯ぎしりや歯をくいしばるくせがある
- 数年健診を受けていない心あたりのあるかたは、ていねいなブラッシングはもちろん、早めに歯科健診や歯科受診をしましょう。



対象	会場	日時	総合健診の中で実施、無料です。
30歳以上の住民	赤池町民会館	9時～11時	
ご希望のかたは、直接会場へお越しください。	赤池町民会館	9月12日（金）～9月15日（月）	
※歯科健診のみ	赤池町民会館	9時～11時	
持つくる物	赤池町民会館	9時～11時	
内容	赤池町民会館	9時～11時	家族みんなで「8020運動」を進めてみませんか？歯科医師、歯科衛生士による個別相談も受けられます。募集定員は25人、無料です。
申込み先	赤池町民会館	9時～11時	会場に於ける個別相談も受けられます。募集定員は25人、無料です。
講師	赤池町民会館	9時～11時	会場に於ける個別相談も受けられます。募集定員は25人、無料です。
申し込み期限	赤池町民会館	9時～11時	会場に於ける個別相談も受けられます。募集定員は25人、無料です。
TEL 28-2004	赤池町民会館	9時～11時	会場に於ける個別相談も受けられます。募集定員は25人、無料です。
内線 144-143	赤池町民会館	9時～11時	会場に於ける個別相談も受けられます。募集定員は25人、無料です。

### 歯周病予防教室のご案内

育児中のママ・パパにおじいちゃん・おばあちゃん。子育てに専念のあるかた、絵本の読み聞かせが上手になりたいかた。育児O.B.のかたなど…大歓迎。ご自由にお気軽にお越しください。

### 子どもたちの感性を豊かに～笑べっこくらぶ「オープンルーム」のご案内

赤ちゃんの体の発育にミルクが必要なように、赤ちゃんのことばと心を育むためには、たっぷりと愛情をそいであげることや抱っこして優しく話しかけることが大事だと言われています。その中で赤ちゃんは愛されていることを感じ、満足し、人への信頼感を育み、対話をするための基礎をつくります。親のぬくもりを感じながら絵本に接し、共感しあうひとときは、子どもの感性や心を豊かにする貴重な時間だといえます。

今回、絵本の読み聞かせボランティア「ぶらんこ」のみなさんの協力のもと、オープンルームを開催します。

「子育ては孤独…」なんて思っているあなた。日頃のグチをこほしにいらっしゃいませんか？



日程：毎月第3火曜日～8月19日、9月16日  
10月21日、11月18日、12月16日、1月20日  
2月17日、3月16日～時間：10:30～13:00

会場：赤池町民会館2階和室  
内容：絵本の読み聞かせ、ほか

持参するもの：お茶、おしぶり、軽食  
主催：赤池町教育委員会

問い合わせ先  
町教育委員会社会教育課 TEL 28-4100  
役場保健課健康づくり係 TEL 28-2004



# Happy Birthday

8月生まれ☆お誕生日おめでとう！

発行月に誕生日を迎える3歳までの子を募集しています（先着順）



柴田 結菜ちゃん

1歳 女の子（上里）  
H14年8月9日生まれ

「結菜、気持ちの  
あたたかい人に  
なってね」  
(パパとママから)

柴田 莉菜ちゃん

1歳 女の子（上里）  
H14年8月9日生まれ

「莉菜、いつも  
元気いっぱい  
いてね」  
(パパとママから)



## 保健の掲示板

実施日	行事名	対象者	場所・受付時間
8月18日（月）	乳児相談	生後3～12か月（身体計測・相談等）	赤池町民会館 13:30～14:30
8月25日（月）	住民健康相談	健康や介護で相談のある人 動脈硬化測定（要予約）	役場会議室 9:00～12:00
8月25日（月）	母子手帳交付	妊婦さん	役場会議室 13:00～13:30
9月2日（火）	三種混合	生後3～12か月	赤池町民会館 13:30～14:20
9月4日（木）	親子であそぼ教室	就園前の乳幼児と保護者	赤池町民会館 9:45～10:00
9月5日（金）	満1歳半3歳児健診	満1歳半3歳児（個人通知します）	赤池町民会館 13:15～14:15
9月8日（月）	住民健康相談	健康や介護で相談のある人 動脈硬化測定（要予約）	役場会議室 9:00～12:00
9月11日（木）	麻しん	（はしか）生後12～24か月	赤池町民会館 13:30～14:20

★ 三種混合・麻しんは90か月まで接種できます。

### 総合健診

期間 9月12日（金）～9月15日（月）  
受付 8時30分～11時  
会場 赤池町民会館



### 総合健診検査セット配布と料金徴収

期間 8月25日（月）～9月5日（金）  
受付 8時30分～17時  
場所 役場保健課健康づくり係  
TEL 28-2004 内線143・144



### お盆の救急医療

田川地区休日救急医療センター TEL 45-7199

診療日 8月14日（木）15日（金）  
受付時間 9時～11時30分（内科・外科・小児科）  
13時～16時30分（内科・外科・小児科）  
18時～22時30分（内科・小児科のみ）  
※ 保険証を忘れずに持参してください



### お盆のし尿処理休業期間

お盆前後は混み合いますのでお早めに。

穂田環境開発 TEL 28-3377 8月14日（木）～16日（土）  
吉田環境整備 TEL 22-0221 8月14日（木）～17日（日）  
筑豊衛生環境 TEL 22-1054 8月13日（水）～17日（日）

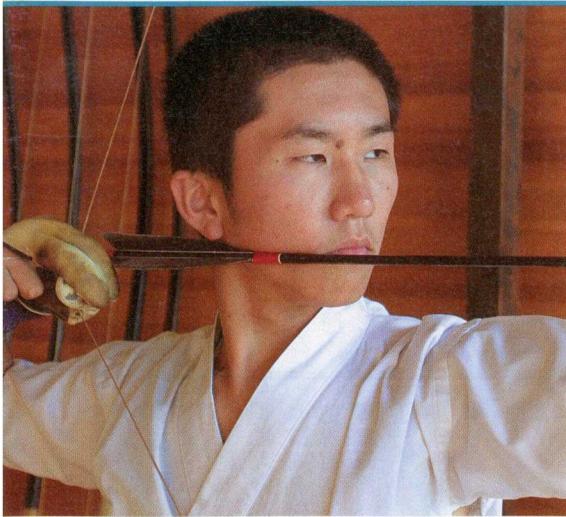
### お盆の斎場休業日

田川地区斎場 TEL 42-8002 8月15日（金）

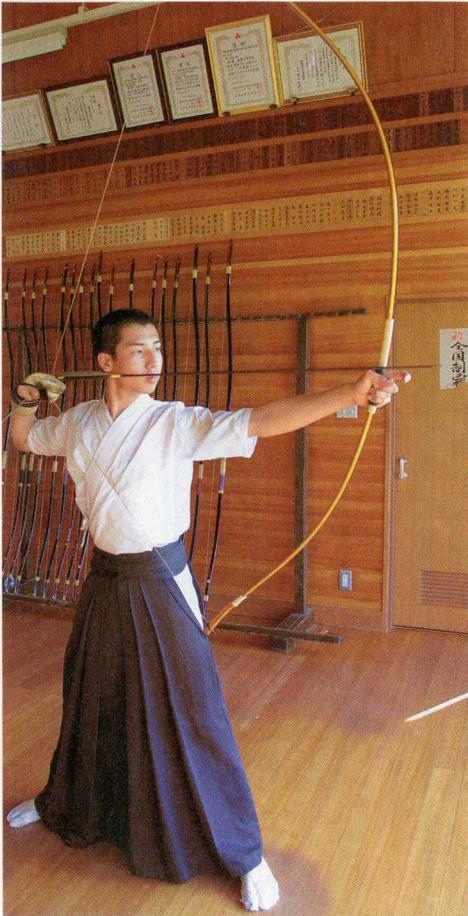
彼ららしい感性で合併にも触れています…長野市  
知れません。時代が流れ大きく動くその時、必ず  
何かの決断があります。7月5日の「田川市都  
合併を考える勉強会」。この日がまさに「その時」  
でした。10市町村の首長・議長が会すなか、口火  
を切った水永町長。将来を見据えた大きな決断は  
私たちの暮らしに深く関わっています。余談ですが、  
が、今月の旋律は4月採用の新人が書きました。  
彼女らしい感性で合併にも触れています…長野市

豪雨被害をうけられた皆様に  
謹んでお見舞い申し上げます





↑的の一点を見定め、弓を引きしほる田口雄一君。

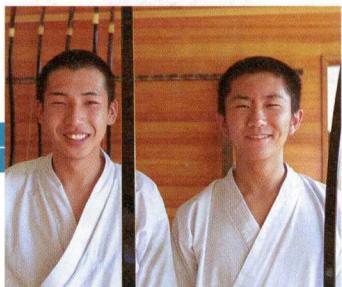


↑大会をイメージして、集中力を高める重藤 旭君。

## 重藤 旭君(生力NT)④ 全国高校総体に

高校最後の試合に臨む――

## 田口 雄一君(山崎)⑤ 国体九州大会に



# 「基本是極意」

# 「一射絶命」の精神で

## 弦

を着ける指先に力がこもる。ゆっくりと立ち、見定めた36ヤンの的、その距離28メートル。矢の筈をつがえ、二人はこん身の力で弓を引いた。

東鷹高校三年の重藤旭君と田口雄一君。高校生活最後の試合に向かって、同校弓道場で追い込み練習に入っていた。的を射る一心な横顔に気迫がみなぎる。

一年生の時、練習を見学して興味を持った重藤君。田口君を誘つて、一人で弓道部の門を叩いた。以来、共に練習と経験を積み、集大成の年となつた高校三年の夏。7月の福岡県高等学校総合体育大会で重藤君が優勝し、全国大会への出場を決めた。田口君も福岡県の国体選手選考会で抜群の成績を

「弓を引く時、的と自分だけの空間ができます。全国大会で、先輩たちが達成できなかつた事を成し遂げたい」と意気込みを語った。

田口君は一つの射に命をかけ、一射ごとに生まれ変わることの意味の「射絶命」を肝に銘じ、的に向かう。「弓道で自分が磨ける。静岡本選に出場できるよう精一杯頑張ります」と、練習の手応えを感じさせる。



も優勝する力は充分持っている。落ち着いて、自信を持って出場してほしい」と激励した。

将来の夢は、重藤君が理学療法士。田口君は作業療法士。高校の職場体験で、患者を励ます

## 旋律

MELODY  
元気な赤池っ子に会いました。先日、町内の小中学校を訪れる機会があり、小学校ではちょうど掃除の時間だったこともあって、気さくに話しかけてくれる児童の元気なパワーに圧倒されながらも、久しぶりの学校生活を垣間見て、自分の学生時代を懐かしく思い出しました▼自分はどんな子どもだったのだろうか?と思うことがあります。記憶は残っていますが、そのころの自分を客観的に見てみたいのです。現在のように、ビデオカメラも普及してなかつたため、写真以外ではその様子を見るすることは出来ません。少し残念です▼最近の学校の授業では、パソコンの導入などもあり、昔とは内容が少しづづ変つてきてているようですが、元気な子どもたちの様子を見て、私たちのこの学校的生活とあまり変つてないよう感じました▼

未来を担う子どもたちは、いつの時代にも元気であつてほしいと思います。子どもたちが健やかに成長することは、町全体の願いです。そのためにも、将来にわたる住みよい町づくりを進めていかなければなりません。最近、市町村合併が進められているニュースをよく目にします。合併は住民生活に大きな影響を及ぼすものです。赤池町も合併に向け、動きはじめました。(叙子)